

決議案第1号

駅の無人化に対し、駅係員の配置を求める決議

上記の議案を別紙のとおり提出します。

平成26年3月28日

羽曳野市議会

議長 今井利三 殿

提出者

羽曳野市議会議員

若林 信一

花川 雅昭

笠原 由美子

田仲 基一

林 義和

松井 康夫

駅の無人化に対し、駅係員の配置を求める決議

近畿日本鉄道では、2013年には、19%の57駅が無人化となっており、様々な問題が生じている。

羽曳野市内でも、昨年の暮れから、恵我ノ荘駅では一部が無人化、駒ヶ谷駅では終日無人化となっており、様々な問題が生じている。

「線路への転落・自殺・侵入に対して目が届かない」「障がい者などに対する緊急対応ができない」「治安・防犯上の問題」「駅施設の管理状態が悪くなる」「地域の核を失う」「列車の遅延情報などの案内が充分になされない」などの問題が生じている。

これらは、特に障がい者、高齢者、妊娠女性、子どもをはじめとした、いわゆる社会的弱者の利用者と鉄道沿線の住民に大きな不安を与えることになり、強い危惧を抱かざるを得ない。

加えて、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」いわゆるバリアフリー新法では、その第1条で「高齢者、障害者等の移動上及び施設の利用上の利便性及び安全性の向上の促進を図り、もって公共の福祉の増進に資すること」を、障害者基本法第21条第2項では、「交通施設その他の公共的施設を設置する事業者は、障害者の利用の便宜を図ることによって障害者の自立及び社会参加を支援するため、当該公共的施設について、障害者が円滑に利用できるような施設の構造及び設備の整備等の計画的推進に努めなければならない」ことを明確に規定しており、今般のような駅の無人化は、これら法律の趣旨・精神にも反するものであり、到底容認できるものではない。

よって、近畿日本鉄道は、羽曳野市内における駅の無人化に対して、有人化、すなわち駅係員を配置することを強く求める。

記

1. 近畿日本鉄道は、羽曳野市内の駒ヶ谷駅の終日無人化や、恵我ノ荘駅の一部無人化など、各駅の無人化に対し、駅係員を配置すること。

以上、決議する。

平成26年3月28日

大阪府羽曳野市議会

近畿日本鉄道株式会社取締役社長 あて